

第8回南牧村小中学校建設検討委員会 議事録

日時 平成29年12月19日(火曜日)午後7時00分開会

場所 南牧村中央公民館大会議室

議事日程

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 委員の交替について
- 4 討議
①中間報告について
- 5 その他
- 6 閉 会

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

会議出席委員

嶋崎 稔夫 井出 松久 菊池今朝造 新海 昇 高見澤 俊彦 片桐 勝則 高見澤 正洋
新海 文人 井出 邦彦 高見澤 みち子 高見澤 ふみ子 矢野 勝彦 水澤 良光
井出 正吉 新海 勝則 菊池 武元 吉澤 忠彦 井出 昭彦 薩田 美穂 高見澤 眞
高見澤 美夏 上村 和加子 今井 澄江 輿水 昌代 天川 千保香 松山 幸代
岡田 加佳 江川 尚友 井出 永一 宮下 博満 高見澤 臣美 板山 笑子 嶋崎 一尚
井出 實 井出 泉 渡邊 壽美 林 崇介 以上37名
欠席10名 武井 晃 坪井 則男 渡邊 忠一郎 井出 将光 新海 一禎 湯浅 麗
菊池 俊志 輿石 剛 高見澤 俊彰 湯浅 夏美

事務局職員出席者

総務課 課長 津金 初男 企画係 有坂 恭祐
教育委員会 教育長 井出 英夫 教育次長 井出 浩美 学校教育係長 井出 一生
今井 征弥

傍聴人 1名

開会 午後7時00分

◎開 会

事務局井出次長 みなさんこんばんは。会議開催時刻になっておりますので、ただいまより始めさせていただきます。林副会長から開会のことばをお願いします。

林崇介副会長 皆様こんばんは。この建設検討委員会の8回目であります。しかも季節は年末に差し掛かりました。是非、振出しに戻らない熱心な皆様のご討議を期待いたしまして開会いたします。よろしくお願いいたします。

◎会長あいさつ

事務局井出次長 渡邊会長、挨拶をお願いいたします。

渡邊壽美 会長 どうもみなさん、改めまして、こんばんわ。いよいよ今年も12月ということで終わりに近づいてまいりました。本当にお忙しい中、お集まりをいただきまして今日また、第8回の検討委員会ということです。振り返ってみますと、昨年、学校づくり委員会、これも8回でまとまってまいりました。今年の検討委員会も8回目を迎えたということで、本当にこれから、次第にありますように中間報告ということも考えていますので、どうか皆さんの活発なご意見をお願いしたいと思います。当所候補地が4つ5つあったわけですけど、2つに絞られまして、これから最終的に意見が集約できればと思いますので、皆様のご意見をよろしくお願いいたします。簡単ですけど挨拶とします。

事務局井出次長 それでは次第の3番でございますが、委員の交替についてということで、このたび板橋財産区の改選がございまして、この委員になられます財産区の議長さんが代わられています。吉澤忠彦さんでございますが、お手元に委員名簿お配りしてございます。それでは吉澤区長さん、ひとことお願いします。

吉澤忠彦 委員 改めて、こんばんは。大変お疲れのところありがとうございます。11月18日に前任から引き継ぎまして、これからよろしくお願いいたします。

◎討 議

事務局井出次長 それでは会議に移らせていただきます。個々よりの進行は会長お願いします。

渡邊会長 それでは板橋の財産区の吉澤さん、よろしくお願いいたします。それでは討議ということで今日は事務局からの説明はございません。これから討議に入りたいと思います。候補地が2つに絞られたわけでありませけれども、そんな中で、ご意見がありましたらお願いします。ありませんか、どんな意見でもいいですけれども。さきほど申しましたように、中間報告ということで絞りたいと思いますので、どんな意見でも結構ですので意見をよろしくお願いいたします。候補地が2つに絞れたわけですが、1つが現在ある南小に小中一貫校を建設するということですが、もう1つは今ある中学校の敷地を利用して、そこに小中一貫校を作る、この2つに絞られたわけですが、この2点についてどうでしょうか。それでは、こちらで指名をさせていただきたいと思います。

海尻財産区の井出正吉さん、お願いします。

井出正吉 委員 ここまで何回かやってきた中で、この辺で中間報告を出すということは、中間というよりもある程度の方向性が出てくるのではということが考えられますので、是非中間報告を取りまとめて出すということで進めて行っていただきたいと思います。

渡邊会長 はい、ありがとうございます。他に、この意見について。どうでしょうか。では、教育委員の井出邦彦さん。

井出邦彦 委員 急に振られて。しゃべることば選んで、考えているんですけど。私として今まで何回かやってきた会議の内容を振り返ってみますと、今のところ学校の候補地2カ所になっているわけですが、今も意見が出ない中で、上がいいか、下がいいかになって綱引きの状態で膠着状態になっていることを表していると思います。ただ去年の学校づくり委員会から今年の学校建設委員会まで含めてやってきた中で、学校をどこに造るかによって、かなり環境が違うことが皆さん頭の中に残っているかと思います。例えば上に作った場合は、はっきり言いますが、中堅のしっかりまとめてくれる先生が、なかなか来てくれないという点や、下に作った場合、平沢の小さい子が通学時間が長くなることははっきりしているんですね。ただ本当に考えなきゃならないのは、子どもが、今の環境よりもっといい、老朽化が進む中で、やっぱり環境を整えてやって、なるべく子どものことを親身に指導してくださる先生が来るような学校の体制をみんなで考えて作っていかねばいけないのではないかと思います。どっちに作るにしても、交通機関のことは徹底的にしっかりやっていきたいと思っています。なかなかみんなでここがいいと意見が一つになることはかなり難しいことだと思いますが、1人ひとりが頭の中で描いて欲しいと思いますね。村の真ん中だとか、標高が高いだとかは個人的には子どもの教育に関係ないんじゃないかと思っています。まとまりがないですが以上です。今の私が言ったことに意見があればどんどん出していただきたいです。お願いします。

渡邊会長 ありがとうございます。他に。ありませんか。こちらから指名をしたいと思っています。北小の井出将光さん。お願いします。

事務局井出次長 来ていません。

渡邊会長 では南小の6年生の興水昌代さん。お願いします。

興水昌代 委員 突然指名されて、何を言っているかわかんないですけど。中間報告というのは、だいたいこの2候補地に決まりました的なことを言うんですか。もうどこか一つに決めちゃうということですか。

渡邊会長 決めちゃうわけではないですけど、皆さんの意見を集約した状態に持って行きたいので、意見をお願いしたいと思います。

興水昌代 委員 まだいろんな意見が出ているので、今の時点ではどちらかに決めるのはまだ無理だと思うので、さきほどおっしゃったみたいに子どものことを一番に考えて、子どもにいい環境で勉強ができるようにということを私たちは忘れずに考えて場所を決めていかねばいけないなあと思います。とりあえず今思うのはそんなところですよ。

渡邊会長 ありがとうございます。ただいま、子どものことを考えるんだということで、子どもを中心に考えていくことになろうかと思えます。それでは北小の5学年の部長の薩田美穂さん。お願いします。

薩田美穂 委員 これからの学校は地域とかが関わって、一緒に学校を造っていくということが全国的に進められていく中で、交通の便がいい所とか地域の皆さんが集まれる場所というのも、子どものことを考えるんですけど、そこも大事なことなのかなというふうに思います。それと私事の話にはなるんですけど、私が小学校の時に自分の通っていた小学校を建て直すことがあったんですけど、校舎のデザインが3候補あって、それを子ども達にも投票させてくれたんですね。そういうことがあって、実際その校舎には卒業してしまって入れなかったんですけど、そんなことって小さいながらすごく覚えていて、自分たちの意見を汲んでもらえたんだなっていう記憶があります。大人たちが意見が出なくなってしまったり、あっちがいい、こっちがいいとなってしまった時に子どもの意見を参考にするのも一ついいことなのかなと感じました。

渡邊会長 はい、ありがとうございます。他にありますか。

高見澤真 委員 北小4年PTA役員高見澤です。前回出られなかったんですけども、先日市場支部の懇談会がありまして、そちらで学校建設検討委員会の関係、お話をさせていただきまして、そちらの中で出た意見を今回こちらで発表させていただければと思います。まず出た意見で一番多かったのは、PTAとか保育園の保護者の方が委員となって、月に1回やっていただいていることで、委員の負担が非常に大きいんじゃないかという、逆に心配していただく意見が多かったです。関心持っている方は、村のホームページだとかで読んでいただいている方、かなり大勢いらっしゃいました。先日、保護者を対象とした説明会があったんですけど、全保護者の人数で考えてみると、参加いただいている保護者の方が多かったんじゃないかと。市場支部の中でも、そういった方が多かったのですが、是非、参加されなかった方については、ほとんどの方が今までに議題に上がったこと、今までに決まったことについては賛同していると捉えて欲しいと。賛成ですと。今までの委員の方がやってきたことに対して賛成ですと是非捉えて欲しいという方が非常に多かったです。そこは私も非常にうれしかったですけど、佐久穂の学校へ見学したりとか、かなり委員の方が勉強されているということをおっしゃる保護者もいて。一番は、早く合併まで持って行って欲しいと。もし今の状態のままで住民説明会だとかを開いてしまうと、まだ候補地も具体的に決まってないところで開いてしまって、また住民から、こっちがいい、あっちがいい、むしろ合併なんですからと話が戻ってしまった時に、その説明をするのは貴方ですよと言われたんです。もちろんそうだと思います。私たち委員は、確かに意見を言わなければいけないんですけど、そうなった時に説明する側にもなると自覚しないといけないと思うんですよ。それもやはり危惧されていまして、であれば是非前向きに会議を進めて来てもらいたいと言われました。小中一貫校について一番皆さん危惧しているのが、子どもがどんどん少なくなっていくのは分かっているこ

となので、是非、一体型の一貫校でお願いしたいという同じ意見が皆さんから出されました。あとバスの問題が結構あったと思います。私の家がそうなのですが、南牧保育園から一番時間をかけてバスの乗るのが私の家でありました。40分かかります。市場支部からバスが出て、広瀬を回ってということがあったわけですが、私個人の意見でもあったわけですが、市場の父兄から話が出たのでは、40分かかりますと言った時は確かに初めは不安だったのですが、もちろん保育園児だったので。ただ迎えだとか各事業に参加して子どもの成長を見て、僕ら大人、親とすれば子どもの成長していく姿を見れて、もちろん距離で言えば野辺山保育園のがずっと近いんですけども、この保育園でよかったなあとと思っています。そこは皆さん一致した意見でした。さきほども出てましたが、やはり標高だとかについては、子どもの教育、主に言えばソフト面の話になると思うんですが、そこについてはどちらかという子どもには関係ないんじゃないのかなという話もありまして。正直、南牧村の中心って多分市場になると思うんです。市場の支部懇談会の中の話だと、確かに距離だと野辺山のがずっと近いんです。なんだけど、それだけでそっちがいいと言っていいのかなという意見はありました。この先の検討委員会の中で候補地を決めて、次の議題に行かなければいけないんですと話しをしていたら、むしろこの2つの候補地に絞りましたということで報告を上げるということにできないんでしょうか。むしろそういう形で次々という形で議案が進んで行かないと、前のように、この議案のまま時間がかかったりだとか、むしろ対立のような形になってしまったりだとか、そういうのは子どもには全然関係ないと思うんですよね。むしろ子どもにしてみれば、時間がたって、僕らが検討委員会だったってというのはずっと残るわけなんで、なんでお父さんあの時早く決まっていなかったのと言われた時には、ぐうの音も出ないよねと言われました。そりゃそうだよねって話になったんですが。さきほども今まで意見されてた方も言われてらしたんですが、とにかく子どもの教育環境だけ考えていただきたいという意見で終わりました。場所については、ここまで絞りましたということで、むしろ次の、どういう学校がいいのかってことに持って行った方がいいんじゃないんですかというふうに、むしろ気を使っていたいただいた意見が非常に多かったです。以上です。

渡邊会長 はい、ただいまは本当に貴重な意見をありがとうございました。少子化というか子どもが少なくなることは目に見えているわけです。学校づくり委員会から始まって検討委員会2年。3年とか4年はすぐに過ぎてしまうわけですね。そういう面では、子どものことを考えれば、さきほど言われたように年月が過ぎないように迅速に進めて行かなければならないんじゃないかと思っているわけです。そんな点について、今の意見についてどうですか。皆さん意見ありますか。

今井澄江 委員 今、高見澤さんから、2候補地に絞っているというところで報告をすることでできないかとお話がありましたけれども、その方向で進めることは可能なんですか。どうしても1つに絞っていかないとだめなのかどうか。それによって今後の議論の方向が変わるんじゃないかと思うんですけど。

渡邊会長 中間報告は、委員の意見の多くの同意を中間報告として持って行きたいと思うので、そういう方向で行きたいと思います。別に決を採るとかそういうことじゃない。

今井澄江 委員 1つに絞らなくてもということですかね。

渡邊会長 なるべくなら絞っていききたいということです。

今井澄江 委員 であれば今南小と中学校の2候補地に出ている意見をまとめる作業をした方がいいんじゃないかと思うんですけど、資料の中でそれぞれの特色だったりだとかはまとまっていると思うんですが、出た意見についてまとめた場所がありましたっけ。探したんですが分からなかったんで、無いようであれば、まとめる作業をして頭の中を整理した方がいいんじゃないかと思います。

井出教育長 いろいろな意見が出ているのは今までの会議の議事録にあるんですが、まとまってないです。ただ私の頭の中に残っているのは、南小は、標高が日本一だとか、素晴らしいロケーション。事務局から絞り込む時は、平坦な土地でハザードマップの危険地域でないとか出ておりました。中学校の周辺では、事務局からは用地交渉するに人数が少ないとか、委員の皆さんからでは学校が近いだとか、今井さんも言ったと思います。そういうことで箇条書きにはできていませんが、今次長が見ていますが膨大な中で、本当は箇条書きにでもすればいいんですけどまとまっていません。委員の皆様のご記憶の中でと思っていますが、すみません、答えになりません。

今井澄江 委員 あと南小の方は、ほぼ中間点じゃないかというようなこととか、中学になると平沢の子ども達の通学が困難だとか、駅とか病院が近いだとかですかね。

渡邊会長 他に。どうぞ。

菊池武元 委員 ちょっと勘違いしている部分があるかもしれませんが、中間報告というのとは1か所に絞り込んじゃうと最終報告みたいな感じが村側に取られるんじゃないかと思うんですよね。最終的な決定権というのは議会で決定するわけでしょうね。場所的なことは、今の段階で皆さん言われていることは、どっちにもメリットもあるしデメリットもあるし決めきれない状況で、今決めろと言われても、もうちょっとやっても駄目かもしれないし、いろんな意見が出るかもしれませんが、中間報告ということであれば現在のところこの2カ所になっていますと。もうちょっとこれからどうしましょうかということしか言えないんじゃないかなって思うんです。我々が1か所に絞っちゃうと村側でもそこにせざるを得ないと取られるんじゃないかなと思うんですよね。村長の提案で議会で決定される議案であると思うんですよ。だからこの2カ所に絞られましたと、いろいろメリット、デメリットありますけれども、この2カ所ですというだけでいいんじゃないかと思うんですけど。皆さんどう考えるか分かりませんが、以上です。

渡邊会長 はい、ありがとうございます。今の広瀬の区長さんの言われる、1点には絞れないじゃないかという、その点についてはどうでしょうか。

井出正吉 委員 広瀬の区長が言ったのは、確かにそういうことがありますし、これから通学の問題とか、学校の問題とか出てくると、こっちのがよかったとか出てくると思いま

す。だからここで決定じゃなくて案として挙げておいて、通学の問題、学校の敷地の問題、それと校舎はどういうふうにするとか、だんだんだんだんこういうような話になってくると、こっちはこっちよりいいじゃないかと意見が出てくると思いますので、ここで1か所に絞るのは無理だと思います。

渡邊会長 はい、ありがとうございます。1か所に絞るということじゃなくて意見を出してもらおうということで、ここに議会の皆さんも初めから参加されていますので、その辺のいきさつは十分これからも理解できるんじゃないかと思っています。ですからそういう意見が多ければそういうことで、それも一つの検討をされたということになるかと思えますので。他に。その点についてどうでしょうか。ありますか。

江川尚友 委員 南小1年学年部の江川です。今のお二人のご意見がとてももっともだと思いました。いろいろとこの先考えていくことで、またどっちの場所が適しているということが、これから変わってくるんじゃないかなと感じたので、まさに今の中間報告ってのは、そういう形でできるといいんじゃないかなと思います。あと場所ありきよりは、それ以外のこともこれまでいろいろ詰めてきたので、そういうことも報告の中に盛り込まれるといいなと思いました。

渡邊会長 はい、ありがとうございました。意見をいただいたわけですが、中間報告は、皆さんの意見をお聞きしまして、事務局でその意見を集計してやっていくとなろうかと思えます。ですから意見をもうちょっと出していきたいと思えます。どんな意見でも構いませんので。それでは中間報告ということですが、決まらないという意見が多数ありましたので、ちょっとここで休憩をいただきまして事務局でその辺を検討したいと思えますので、どうでしょうか。10分、7時50分まで休憩ということをお願いしたいと思います。

(休憩による中断)

渡邊会長 それでは休憩後、お手元に報告案ありますね。それでは事務局で案を報告したいと思えます。よろしくをお願いします。

事務局井出次長 それでは報告案を朗読させていただきます。本委員会は、平成29年5月23日に、南牧村における小中学校の新たな施設整備等に関し、全村一体となつての学校づくりを進めることを目的として発足しました。これまでに8回の委員会を開催し、小中一貫教育の姿や学校施設の設置場所の選定などを検討してきました。今回の中間報告では、学校施設の在り方については、小中一貫教育を進める上で小学校と中学校が一体となったものが望ましいとの意見が多数ですが、今後さらに、南牧村に最も適した望ましい教育環境の実現に向けて議論を深めて参ります。また、新しい学校施設の建設場所については、いくつかの候補地を検討しましたが、現時点において1か所に決定するには至らず、現在の南小学校敷地、または中学校敷地周辺の2候補地に絞り、中間報告とすることが妥当であると考えます。以上です。

渡邊会長 中間報告について、ただいまありましたが、この点についてどうでしょう。皆

さんご意見ありましたら、お願いしたいと思いますが、どうでしょうか。

松山幸代 委員 南小の松山です。小中一貫教育を進める上で小学校と中学校が一体となったものが望ましいとの意見が多数ということは、そうじゃない意見もあるということですか。

事務局井出次長 そういう意見は多数ですので、少数意見もあるということです。

松山幸代 委員 はい。

渡邊会長 はい、他に。

上村和加子 委員 北小、上村です。村長さんに持って行くのはこの紙1枚ということですか。さっき今井さんがおっしゃったように、南小にするならこんなメリットがあるとか、中学校にするならこんないいところがありますよとか、この話し合いの中で出たことをもうちょっと出せると、今後いろんなことを検討していただく上で参考になったり、村長さんや議会の方々が考える上で参考の資料になるのかなと思うんですけど。なかなかそういうのは難しいんでしょうか。

渡邊会長 はい、教育長。

井出教育長 これで村に出します。村長の中でいろいろご自身で検討したり、あるいは分からないところは、当然我々が呼び出されるわけでございます。議事録で公開している分は村長が必要と言えればお渡ししますし、口頭での説明もしますし、資料もお渡しするところでございます。実は今まで開いてきているこの建設検討委員会の後には、だいたいこんなことが出ましたとの報告は後日私からしているところです。ですから、村長これ1枚だけで全て判断するんじゃないくて、判断する上で必要なところがあれば、我々も呼び出しますし、若しくは会長さん、副会長さんを呼び出す可能性もあるし、場合によれば皆さんの話も聞きたいというかもしれません。それは村長の考えで私から何とも言えないですけど、ご理解いただきたいと思います。皆さんが今まで一生懸命やってきたいろいろな資料と議事録を付けて出したらいんじゃないですかというご提案だと思いますが、それは必要な時に向こうから要求を私の方に来るかだと思いますので出したいと思っています。そんなところでよろしいですか。

上村和加子 委員 はい分かりました。ありがとうございます。

渡邊会長 はい、中間報告について、どうでしょうか。何かありましたら。ありませんか。それではないようですので、これで、この中間報告案を案としていただいて村長に提出するというので、よろしくお願いしたいと思います。村長への報告は、会長と副会長が出席するというので、よろしくお願いしたいと思います。それでよろしいでしょうか。

(はい、の声多数あり)

渡邊会長 それでは中間報告ということで皆さん、賛成いただきましたので、1時間ですけれども今日の会議を閉じさせていただきます。事務局。

事務局井出次長 1点お願いします。本日お配りしてございます広報みなみまきの6月号の

最終ページをコピーしてお配りしてございます。この委員会が発足した時の記事が中段右側にあつて、その下に出前講座のお知らせという囲み記事があります。6月にこういう形でお配りしてあります。前回、平沢の皆さんを中心に村長あてに住民説明会の開催についての請願といひますか要望書が出されておりますけれども、こういった出前講座での教育委員会事務局が出向いて行って説明するといふことはいくらでも行いますので、そういった形でもよろしければ私が参りますので。但しこういう所に来て頂きたいといふ会場の設定や人数の把握は、それぞれの皆さんにお願いするわけですが、それは委員の皆さんにしてくださいといふことではありません。前回、説明会を3回開催させていただきましたけれども、それほど期待した人数が集まっていたけなかつたこともありまますので、こうやってもはたして何名参加されるか予想できるわけですが、こういった形で話を聞いていただくといふことはやぶさかではございませぬ。ご承知おきください。以上です。

◎閉会の宣告

事務局井出次長 それでは林副会長、閉会の挨拶をお願いします。

林 副会長 皆様の積極的なご意見と、事務局の迅速な対応で、中間報告案ができました。皆様には中間報告を決定していただきました。ひとまず、この建設検討委員会は次の段階へ進むことになると思ひますが、それは事務局から何か通知があると思ひますので、今日はたいへんどうもありがとうございました。

閉会 午後8時00分